



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月25日

上場会社名 KIホールディングス株式会社
 コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 常雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田地川 章

TEL 045-822-7101

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	10,211	△13.5	525	△63.6	682	△53.1	265	△84.5
28年9月期第1四半期	11,809	20.3	1,443	13.6	1,454	1.1	1,717	85.5

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 1,696百万円 (△32.7%) 28年9月期第1四半期 2,521百万円 (13.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	6.41	—
28年9月期第1四半期	41.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	45,344	11,896	18.1	198.16
28年9月期	42,917	10,200	16.6	172.32

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 8,211百万円 28年9月期 7,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	△3.0	3,700	△6.6	3,600	△9.1	2,300	△33.7	55.50
通期	52,000	△1.1	5,000	△5.9	4,900	△2.1	2,700	△20.0	65.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期1Q	41,587,061 株	28年9月期	41,587,061 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年9月期1Q	147,992 株	28年9月期	147,507 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	41,439,190 株	28年9月期1Q	41,442,873 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

平成29年9月期の個別業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	100	△ 54.2	△ 500	—	300	△ 21.3	700	△ 61.8	16.89
通 期	200	△ 39.2	△ 1,000	—	2,000	30.0	2,400	△ 15.1	57.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、緩やかな回復が見られたものの、海外経済の不確実性が高まり、先行きに不透明さが残る状況で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。

輸送機器関連事業につきましては、鉄道車両機器部門及び中国子会社が減少したため、前年同期比28.9%減の5,202百万円となりました。

電気機器関連事業につきましては、情報システム、交通システム部門が増加したため、前年同期比14.4%増の4,569百万円となりました。

住設環境関連事業につきましては、環境システム部門が増加したものの、住設機器部門が減少したため、前年同期比11.8%減の440百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比13.5%減の10,211百万円となりました。

損益につきましては、原価低減及び経費削減に努めたものの、売上の減少や、電気機器関連事業の利益が低下したことなどにより、営業利益は前年同期比63.6%減の525百万円と前年同期に比べ減少しました。また、営業利益の減少を受け、経常利益は前年同期比53.1%減の682百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期は特別利益に損害賠償引当金戻入額を計上したこともあり、前年同期比84.5%減の265百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は受取手形及び売掛金の増加1,244百万円、原材料及び貯蔵品の増加550百万円、現金及び預金の減少546百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1,919百万円増加し、32,321百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の増加589百万円、建物及び構築物の減少44百万円などにより、前連結会計年度末に比べ507百万円増加し、13,022百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ2,426百万円増加し、45,344百万円となりました。

負債につきましては、短期借入金の増加900百万円、支払手形及び買掛金の増加732百万円、流動負債その他の減少515百万円などにより、前連結会計年度末に比べ730百万円増加し、33,447百万円となりました。

純資産につきましては、非支配株主持分の増加625百万円、その他有価証券評価差額金の増加408百万円、為替換算調整勘定の増加384百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1,696百万円増加し、11,896百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益681百万円、仕入債務の増加505百万円などの増加に対し、たな卸資産の増加726百万円、売上債権の増加632百万円、法人税等の支払額337百万円などの減少により、925百万円の使用となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出61百万円などにより、67百万円の使用となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の純増額900百万円、非支配株主への配当金の支払額571百万円などにより、312百万円の増加となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は3,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ546百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月24日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,105	3,558
受取手形及び売掛金	17,227	18,471
製品	3,377	3,682
仕掛品	1,774	1,977
原材料及び貯蔵品	3,718	4,268
繰延税金資産	118	88
その他	381	595
貸倒引当金	△300	△320
流動資産合計	30,402	32,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,563	2,519
機械装置及び運搬具(純額)	139	151
工具、器具及び備品(純額)	184	163
土地	2,971	2,971
有形固定資産合計	5,859	5,805
無形固定資産	202	193
投資その他の資産		
投資有価証券	6,017	6,607
繰延税金資産	100	99
その他	446	441
貸倒引当金	△110	△125
投資その他の資産合計	6,453	7,022
固定資産合計	12,515	13,022
資産合計	42,917	45,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,918	8,650
短期借入金	4,000	4,900
1年内返済予定の長期借入金	2,043	2,033
未払法人税等	265	145
賞与引当金	500	251
その他	2,905	2,389
流動負債合計	17,633	18,370
固定負債		
長期借入金	9,013	9,008
繰延税金負債	757	937
役員退職慰労引当金	334	245
環境対策引当金	185	185
退職給付に係る負債	4,714	4,623
その他	77	76
固定負債合計	15,083	15,077
負債合計	32,717	33,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△11,270	△11,004
自己株式	△54	△54
株主資本合計	6,100	6,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,712	2,121
為替換算調整勘定	△104	280
退職給付に係る調整累計額	△568	△556
その他の包括利益累計額合計	1,040	1,845
非支配株主持分	3,059	3,684
純資産合計	10,200	11,896
負債純資産合計	42,917	45,344

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	11,809	10,211
売上原価	8,945	8,307
売上総利益	2,863	1,903
販売費及び一般管理費	1,420	1,378
営業利益	1,443	525
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	23	24
為替差益	—	82
受取ロイヤリティー	—	64
貸倒引当金戻入額	72	17
その他	22	22
営業外収益合計	130	222
営業外費用		
支払利息	34	62
航空事業安全対策費	32	—
その他	52	2
営業外費用合計	119	65
経常利益	1,454	682
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
投資有価証券償還益	6	—
損害賠償引当金戻入額	1,068	—
特別利益合計	1,075	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,529	681
法人税等	218	110
四半期純利益	2,310	570
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,717	265
非支配株主に帰属する四半期純利益	593	304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	327	408
為替換算調整勘定	△111	705
退職給付に係る調整額	△4	11
その他の包括利益合計	210	1,126
四半期包括利益	2,521	1,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,985	1,070
非支配株主に係る四半期包括利益	535	625

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,529	681
減価償却費	96	94
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△73	20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△59	△79
賞与引当金の増減額(△は減少)	△215	△249
損害賠償引当金戻入額	△1,068	—
受取利息及び受取配当金	△35	△35
支払利息	34	62
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
投資有価証券償還損益	△6	—
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,156	△632
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,811	△726
仕入債務の増減額(△は減少)	1,496	505
その他	38	△210
小計	3,080	△570
利息及び配当金の受取額	44	43
利息の支払額	△34	△62
損害賠償金の支払額	△6,468	—
法人税等の支払額	△338	△337
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,716	△925
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12	△61
有形固定資産の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	—	△5
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	105	0
その他	△5	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	85	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,021	900
長期借入金の返済による支出	△18	△15
非支配株主への配当金の支払額	△1,165	△571
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,835	312
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,156	△546
現金及び現金同等物の期首残高	6,341	4,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,497	3,558

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,317	3,993	499	11,809	—	11,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	554	185	—	739	△739	—
計	7,872	4,178	499	12,549	△739	11,809
セグメント利益(△は損失)	1,584	△4	19	1,600	△156	1,443

(注) 1. セグメント利益の調整額△156百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,202	4,569	440	10,211	—	10,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高	454	179	—	633	△633	—
計	5,656	4,749	440	10,845	△633	10,211
セグメント利益(△は損失)	889	△152	△9	727	△202	525

(注) 1. セグメント利益の調整額△202百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。